

ジョイサポコラム No.30

休診でしたらすみません

社会福祉法人日本医療伝道会 衣笠病院 皮膚科医師 菅谷 和江



地球の温暖化といわれても、冬はまだ寒い。鬱々としてしまう方は多いと思う。私がもっとも鬱々と考えてしまうのは、やはり、年齢的に老後のこと。認知症になったらどうしよう。歩けなくなったらどうしよう。わが娘は、「どうなったら施設に入る？」と真顔で聞いてくる。

体が動くうちに、いろいろ経験を楽しめるうちに、いろいろ出かけたいと思ってきた。定年退職したらどんどん出かけるぞ！！と思っていたが、幸か不幸か定年過ぎてもいまだに働いている。

休みを取ると前後が忙しくなるので有給休暇をきれいに消化したことは今もない。しか

し、世の中も変わり、コロナウイルス感染もそれなりに落ち着き、有給休暇も消化しないといけないような世の中になったので、もう少し休みを取って出かけることにした。2～3か月前から不在を伝えてもたまに受診に来た患者に「せっかく来たのに休診だった。」といわれてしまうのはちとつらい。

普段忙しいと運動をあまりしていないので、出かけると結構大変！な時もあるが、まだ何とか、スリランカの遺跡の1200段の階段とか、トルクメニスタンの遺跡の小山とか、行ってきた。車いすに乗ってでは行けないところに、今ならまだいけるといって行きたい。

さてさて、今春はモロッコに行けた。

大学を卒業して就職する末娘に、どこかに行きたい？と聞いたら、即座にモロッコのシャウエンに行きたいと返答があった。青い町として人気の観光地である。日程は卒業式後から就職前で探し、シャウエンに行くパッケージツアーに娘2人を含めて出かけた。最近、ヨーロッパなど出かけていなかったのを忘れていたが、飛行機に乗っているだけで北アフリカのモロッコ（カサブランカ）まで20時間以上かかり、遠かった。おまけにラマダンにぶつかっていた。そうそうラマダンにぶつかる物でもないのでもそういうチャンスに当たったと思えばそれはそれ、旅とはそんなもの。天候も雨になれば、現地の人には恵みの雨（それでも時に集中豪雨のようで温暖化の影響？）。悔しいが傘をさして雨のシャウエンを歩き、ラマダンのためにフェズのシャッター通り状態の小道を歩いた。

モロッコ行って何してきたのと問われたら、私にとっては「サハラ砂漠でラクダに乗って朝日を見てきた。」こと。ラクダは動物園で近づくと臭いつばを吐きかけられることがあって危ないよといわれ、近づいたことはなかった。しかし、砂漠のラクダたちは優しく載せてくれて、つばも吐かずに帰ってきた。天気も良く、そう寒くもなかった。右手に月が見えて左手には朝日が昇ってきた。

降りてありがとうと頭のくるくるした毛を軽くポンポンと触ったら、砂漠の砂が舞った。

また長い時間をかけて飛行機で成田に降り立ち、次の日から外来診療だ。診療情報提供書を作成して患者に衣笠病院を受診させたのに休診でしたら、ごめんなさい。よろしくお願いいたします。そのうちまた出かけます。（岡村院長をはじめ、留守に対応して下さるスタッフにも感謝しています。）

